



落五便り

3月号

新宿区立落合第五小学校

有終の美を飾る

校長 大橋 直子

〔卒業までに〕

寒さの陰にも春の足音が聞こえてきそうな季節になりました。落五小では、インフルエンザによる欠席者が数名いるものの学級閉鎖には至らず、子どもたちも比較的元気に過ごしています。このまま無事に本年度の教育活動を終えることを願うばかりです。

さて、2月下旬から卒業行事が始まりました。これからの日々、6年生は卒業に向けてひた走ることになりますが、6年生にはぜひ小学校生活のまとめをしっかりと行い、有終の美を飾ってほしいと願っています。2月下旬に数回、校長室で6年生と会食をしました。その時、人の成長は竹に例えられますが、改めてそれは真理だと思いました。竹が遅しくしなやかなのは節目があるからで、節目があるために、雪が降っても風が吹いても、竹は折れることなく丈夫なのです。子どもの成長も同じで、体験を通して得たものが多いほど、節目節目で真剣に考えたことが多いほど、節目は大きく、確かなものになっていくようです。聞く・話す、読む、書く、計算等の学習体験、友人関係等の生活体験、こうした様々な体験の中で、物事をじっくり考え、自分の思いや願いをしっかりと育んだ人ほど、大きくしっかりした節目を持つことができるような気がしました。

卒業する6年生には、残された日々の中で、自分の生き方をしっかり見つめ、将来に思いを馳せる時間をもってほしいと考えています。そして、本校の卒業生であることを誇りに思い、大きく羽ばたいてほしいと願っています。

〔子ども園舎完成〕

昨年の7月以来行われていた子ども園舎の建設工事がようやく終了し、2月18日に幼稚園が新園舎に引っ越しました。幼稚園児は、半年以上小学校の1階で生活していましたが、この間小学生がとても優しく接してくれたり、小学生用の遊具で遊んだり、それなりに楽しく生活していました。今後も、低学年の生活科等の授業で交流したり、高学年の児童が幼稚園に本の読み聞かせに行ったり、幼小の自然な連携は続けていきたいと思っています。保護者、地域の皆様には、工事期間中様々なご協力を頂き、ありがとうございました。お礼申し上げます。

日	曜	3月の行事予定
1	木	保護者会(3.4年)、幼小交流給食(1年)
2	金	かがやき集会、中学校体験入学、
5	月	全校朝会、謝恩会、4時間授業
6	火	外国語活動(5.6年)、保護者会(1.2年)
7	水	4時間授業
8	木	外国語活動(5.6年)、委員会活動
9	金	ゲーム集会、食育(6年)5.6校時
12	月	全校朝会
13	火	外国語活動(5.6年)、PTA総会
19	月	全校朝会
20	火	春分の日
21	水	給食終了、校内美化活動
22	木	修了式、卒業式予行
23	金	卒業式 10:00 開式
26	月	春季休業日開始

▲ 今月の避難訓練は実施日の予告なしで行います。

平成24年度 4月の行事予定		
日	曜	
6	金	始業式、入学式 10:00 開式
10	火	給食開始(2~6年)
13	金	保護者会(1~3年)
16	月	保護者会(4~6年)

3月の目標

- ◎生活目標：1年間の生活をふり返ろう
- ◎安全目標：春休みを安全に過ごせるようにしよう
- ◎保健目標：健康生活の反省をしよう
- ◎避難訓練：緊急地震放送での避難の仕方を知ろう

6年生 最高学年として過ごした1年間

6年担任 西島 秀

☆ 20名全員が学校のため、クラスのためによく働きました。ひとつ経験を積むごとに心も体もぐんぐん育ちました。これからは、もっともっと成長することでしょう。期待しています。

○日本の学校に来て1年半が経ちました。落五小は人数が少なく家族のようでした。一生忘れられない1年半でした。

○ぼくが最高学年として過ごした1年間は、最初は緊張したけどだんだん慣れてきてどんどん楽しくなってきました。早く中学校生活に慣れるようにしていきたいです。

○6年生になって、委員会の委員長になったり、勉強がむずかしくなったり、いろいろといそがしくなった感じがします。しかし、楽しいこともたくさんあって、充実した1年間だったと思います。

○1年間、あつという間でした。あつという間だったけれど、とても充実した年になりました。今年はたてわり班の班長だったのでとても責任の重さを感じることができました。1年間楽しかったです。

○6年生になって、勉強も5年生の時より難しくなり、学校の仕事も任されるようになりました。いそがしかったけど、とても充実した1年になり、よかったと思います。

○6年生になると、行事がすごく多くありました。特に夏休みが終わってからは、移動教室、全校遠足、音楽鑑賞教室と大きな行事が次々と続きました。そのためか1年間がすごく早く感じました。

○私は、たてわり班の班長で、同じ班のメンバーが不安にならないように、特に1年生を迎えに行くのに遅れないよう気を付けました。

○最高学年として過ごした1年間の中でも運動会のマーチングが心に残っています。

3年生のころからずっと指揮者に憧れていて、必死で練習してやっとの思いで受かったのが、このことは忘れたいと思います。

○進級するときは「憧れていた6年生だ」と最高学年になることに対してわくわくしていました。現実には責任が重くなり、仕事も増えるようになりました。しかし、やりこなすことが楽しいと感じるようにもなりました。

○運動会や展覧会などの行事で下の学年からすごいな、こんふうに分でもできたらいいなと思われるようにがんばりました。特に運動会では、組体操をカッコよくきめられたのでよかったです。

○低学年のお世話や勉強などやらなければいけないこと、将来の進路など決めなければいけないこと、いろいろ大変なことがありました。それを乗り越えて中学生になるんだなど、実感する1年でした。

○私が1年間で心に残った思い出は2つあります。1つは、運動会で赤組の応援団長になり、優勝できたことです。2つめは、高遠移動教室です。6年生だけの思い出がたくさん作れてとても楽しかったです。

○私は、最後の1年間がとても大変だと思いました。勉強もだんだん難しくなるし、委員会などは6年生を中心に進めるからです。でも、大変なことだけではなく楽しいこともたくさんあったのでよかったです。

○6年生になり過ごした1年間はとても責任を感じる1年間でした。特に、そう思ったことは全校遠足です。班長だったのでみんなを引っ張っていかねか不安でした。しかし、みんなが話を聞いて行動してくれたので楽しくできました。

○千代田湖で「先生はすごいな」と思いました。なぜかというと、すぐにみんなをならませたり、指示を出したりするからです。私は5年生たちをしっかりと並ばせることができなかったのもそう感じました。

○全校遠足では1年生を並ばせたり、歩くペースに合わせたりしてがんばりました。最後は注意できずあきらめてしまいました。最高学年として自覚をもたなければならぬと改めて思った1年でした。

○最高学年として過ごした1年間は、責任感の大切さを学びました。今までは、たてわり班活動やクラブ活動、委員会活動は6年生に任せていたけど、この1年は、自分がみんなをリードしないとけないと思いました。

○全校遠足で下級生をリードし、1年生のペースに合わせて歩きました。私は、副班長だったけど、最高学年としての責任を果たせたと思いました。これからも仕事に責任をもって取り組みます。

○ぼくはこの1年間とても楽しかったです。最初は最高学年として仕事をしっかりとできるか不安でした。しかし、こなしていくうちに意外と楽しくなっていました。

○ぼくは最高学年として、たてわり班活動をがんばりました。たてわり班でみんなが楽しく遊べるように努力しました。